



国立研究開発法人

森林研究・整備機構

Forest Research and Management Organization



森林の価値を高め、持続可能な社会構築の中心に

森林は、木材供給だけではなく、生物多様性の保全や水源涵養、気候変動の緩和などの環境の保全や調整を行う多面的機能を有しており、我々の生活はその恩恵を受けています。地球温暖化の緩和においても、二酸化炭素の吸収源として大きな役割を担っています。森林が生み出す木材は、化石資源の代替による二酸化炭素の排出削減も期待されています。地球温暖化の進行を緩和するためには、排出削減とともに森林の吸収源機能を高めることが求められますが、世界では、森林の減少や劣化が進んでいます。森林の多面的機能は、森林生態系が健全であってはじめて十全に発揮されます。森林資源の過剰な利用は、森林生態系の健全性を損なう要因となります。森林資源の適切な利用には、それぞれの森林生態系の営みを科学的に理解することが不可欠です。

森林研究・整備機構は、森林・林業・木材産業・林木育種に関する基礎から応用、開発までの研究を分野横断的、総合的に行う森林総合研究所と水源涵養機能を高めるための森林を造成する森林整備センター、災害による損害を補償し林業の安定経営を支援する森林保険センターで構成される組織です。研究と水源林造成、森林保険のそれぞれの業務を推進・連携させることで、森林・林業・木材産業の発展に貢献し、持続可能な社会の構築に資する中心的な役割を担うことを目指しています。その実現のためには、国内外のステークホルダーの皆様との連携が不可欠です。皆様のご理解、ご協力を賜ることができたら幸いです。

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
理事長 丹下 健



Mission Statement ミッションステートメント

Mission 存在意義

森林・林業・木材産業に係わる研究と、森林の整備や保険を通じ、豊かで多様な森林の恵みを生かした循環型社会の形成に努め、人類の持続可能な発展に貢献します

Vision あるべき姿

日本の将来にとってなくてはならない先導的研究を行うとともに、森林の整備や保険に関する高い専門性を活かした政策を実施する機関となることを目指します

ミッションを実現するための

Task 具体的役割

以下の4つに貢献します

- ① 科学技術の発展
- ② 安全で豊かな社会の実現
- ③ 林業・木材産業の振興
- ④ 国際協力の推進

1. 研究開発業務



環境変動対策の高度化と 森林の多面的機能の発揮

に向けた研究開発

環境保全や調整機能の強化と生物多様性保全の面から森林の多面的機能の高度発揮に向けた研究を推進し、森林を活用した国内外の環境変動問題の解決に貢献します



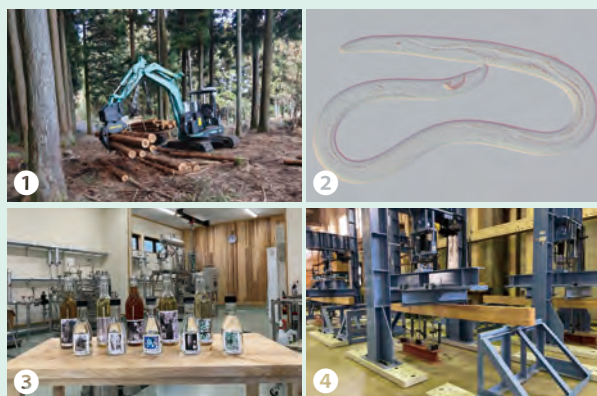
- ① 豪雨により同時多発的に発生した山腹崩壊と土石流の跡
- ② 北海道でのトドマツ人工林における保持林業実証実験
- ③ 気候変動に脆弱なアンデス山地生態系と住民の共存景観



林業の持続的かつ健全な発展と 木材資源の高度利用

のための研究開発

我が国の森林資源を最大限に活用した持続的かつ健全な林業・木材産業の実現に資する研究を推進し、山村地域の活性化、さらには国民生活の向上に貢献します

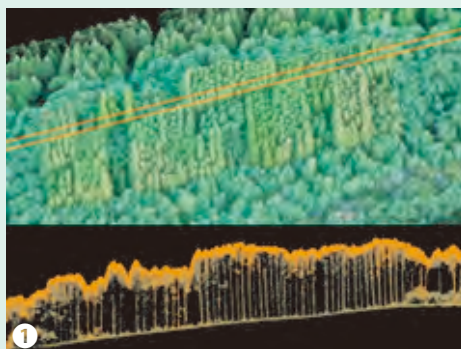


- ① 自動グラブローダ
- ② マツ材線虫病の病原体マツノサイセンチュウ
- ③ 木質バイオマス変換新技術研究棟（通称木の酒研究棟）の施設と、同施設で試験製造した「木の酒」
- ④ 新たな木質材料の性能評価

多様で持続的な森林資源の
造成・利用に貢献する

林木育種

将来にわたり持続可能な森林経営を支えるため、林木遺伝資源の保全と育種技術の高度化を進め、社会的課題に対応した優良品種の開発と原種苗木の安定供給に取り組みます



- ① UAV-LiDAR で取得した試験地の画像
- ② 特定母樹や優良品種の原種苗木

2. 水源林造成業務



水源林造成業務では、奥地水源地域の水源涵養上重要な民有保安林を対象に、森林の有する公益的機能を持続的かつ高度に発揮させることを目的として、分収造林契約※方式等により、多様な森林を造成・整備しています

※分収造林契約とは

造林者
造林の実行

造林地所有者
土地の提供

森林研究・整備機構
費用の負担、造林者への技術指導等

- 植栽から伐採に至るまで長期安定的に実施
- 全国に森林技術のノウハウを還元

森林の造成にあたっては、下記を推進しています。

- 広葉樹等の現地植生を活かした長伐期施業の導入
- 複数の樹冠層へ誘導する複層林施業の導入
- 主伐時の伐採面積の縮小・分散化



長伐期の針広混交林
(宮城県黒川郡大和町)



育成複層林（面的複層林）
(熊本県入吉市)

●これまでの実績とその効果

昭和36年度からこれまで植栽した森林面積
約**49万ha**（令和6年度末）

水源林の公益的機能－その1

水源涵養

- ・良質で豊かな水を供給
- ・洪水防止や水質の浄化

年間約31億m³を貯水
(東京都で使う約2年分の水量に相当)



水源林の公益的機能－その2

環境保全

- ・二酸化炭素の吸収
- ・酸素の放出・大気浄化への寄与

年間約230万トンの
二酸化炭素を吸収
(約136万世帯の年間消費電力の
発電時に排出されるCO₂量に相当)



水源林の公益的機能－その3

山地保全

- ・土砂の流出・崩壊の防止
- ・災害に強い森林整備

毎年約9千3百万m³の
土砂の流出を防止



水源林の公益的機能の効果額（試算）

年間約**9千億円**

3. 森林保険業務



森林保険法に基づき、森林所有者を被保険者として、火災、気象災（風害、水害、雪害、干害、凍害、潮害）、噴火災による森林の損害を総合的に補償する保険を運営しています

森林保険は、森林所有者が自ら災害に備えるセーフティネットとして、林業経営の安定、被災地の早期復旧による森林の多面的機能の発揮に大きな役割を果たしています

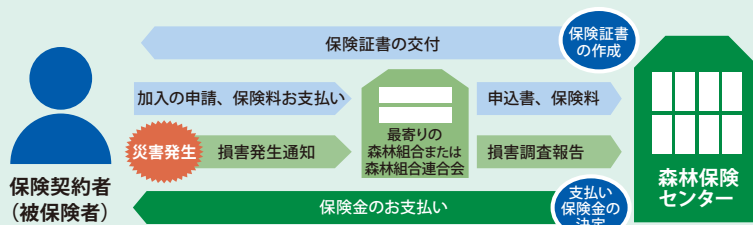
森林保険業務では、被保険者へのサービス向上や制度の普及と加入促進、研究開発業務と連携した、森林気象害のリスク評価などに取り組んでいます

●保険金のお支払い事例



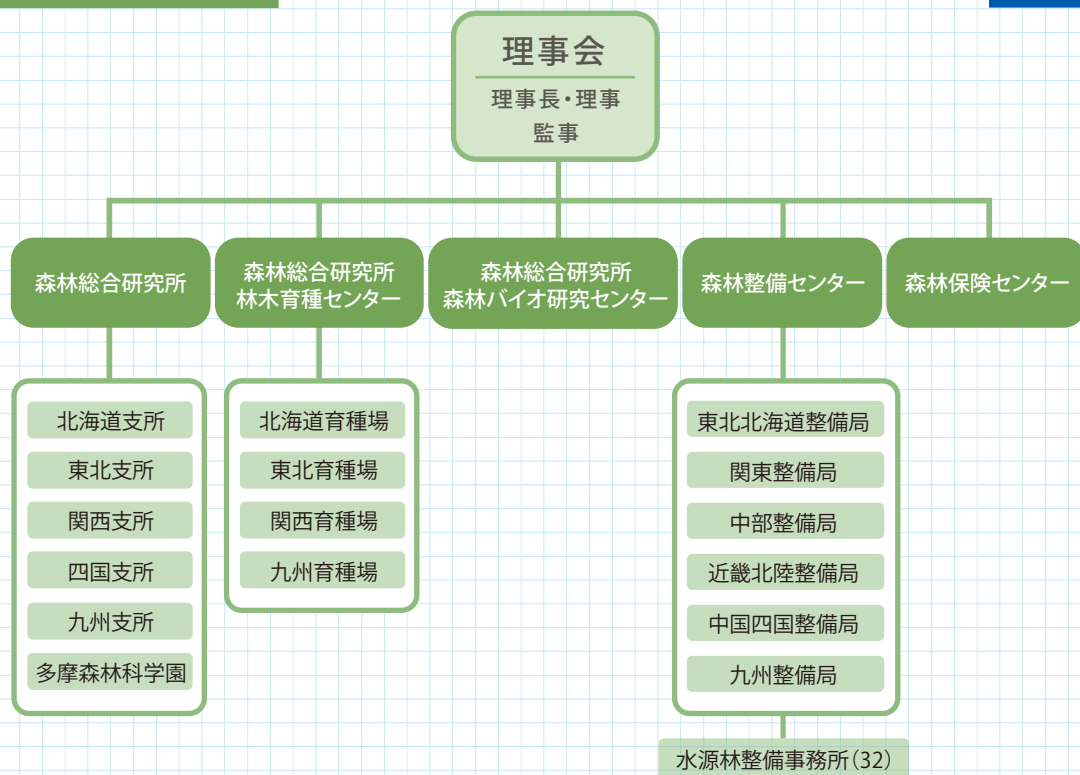
岩手県（私有林）
樹種・損害時林齢：スギ・29年生
お支払いした保険金 3,487,500円
実損面積 / 契約面積 1.25 ha / 1.25 ha
ha当たり保険料 7,855円/年(10年契約)
付保率：100%
令和7年2月に岩手県大船渡市で発生した大規模な林野火災により被害を受けた林内の様子

●契約申込み及び保険金の受け取り手続き



森林組合及び森林組合連合会は、森林保険センターとの委託契約に基づき業務を行なっております。

組織



沿革

明治38年(1905年)

農商務省山林局林業試験所として東京府目黒村に発足

明治43年(1910年)

林業試験場に名称変更

昭和22年(1947年)

農林省林野局林業試験場に改編

昭和53年(1978年)

筑波研究学園都市に移転

昭和63年(1988年)

森林総合研究所に改編・名称変更

平成13年(2001年)

独立行政法人森林総合研究所発足

平成19年(2007年)

独立行政法人林木育種センターと統合、森林バイオ研究センターを設立

平成20年(2008年)

旧緑資源機構業務を承継し、森林農地整備センターを設置

平成27年(2015年)

- 国立研究開発法人森林総合研究所に名称変更
- 旧森林国営保険事業を承継し、森林保険センターを設置
- 森林農地整備センターを森林整備センターに名称変更

令和8年(2026年)

第6期中長期計画開始(令和8年度～令和14年度)

予算

※令和8年度

研究・育種

[単位:百万円]

運営費交付金	10,866
施設整備費補助金	0
受託収入	745
諸収入	28
合計	11,638

森林整備

[単位:百万円]

水源林勘定	国庫補助金等	25,655
	長期借入金	4,100
	業務収入等	2,901
	小計	32,656
特定地域 整備等勘定	政府交付金	52
	業務収入等	579
	小計	631
	合計	33,287

森林保険

[単位:百万円]

業務収入等	1,772
合計	1,772

※予算は、四捨五入の関係で計が一致しないところがあります

役職員

※令和8年4月1日現在

役員 8名(2名)

研究・育種

研究職員	434名(83名)
一般職員	260名(73名)
合計	694名(156名)

森林整備

一般職員	351名(62名)
合計	351名(62名)

森林保険

一般職員	36名(14名)
合計	36名(14名)

機構全役職員数 1,081名(232名)

※()内は女性の数で内数派遣職員、再雇用者を含む

平成17年(2005年)
創立100周年

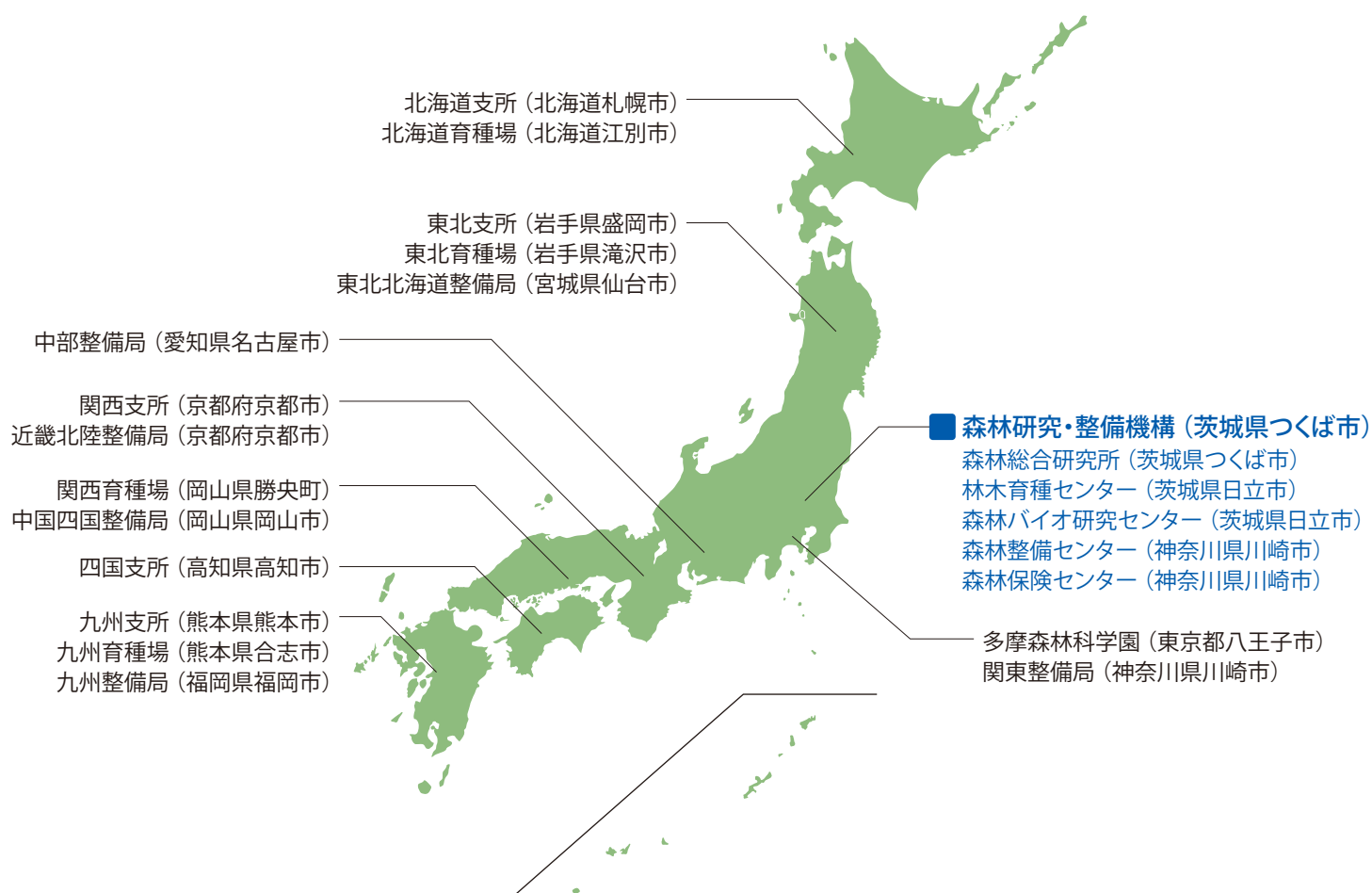
平成29年(2017年)

国立研究開発法人森林研究・整備機構に名称変更

森林研究・整備機構は SDGs に貢献します

2015年の国連サミットでは、持続可能な開発のための2030アジェンダが採択され、2016年から2030年までの国際目標として、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成される、持続可能な開発目標(SDGs)が示されました。

本要覧では、当機構の業務がどのゴールに貢献するのかをSDGsアイコン(右図)を用いて示しています。



森林総合研究所

茨城県つくば市松の里1番地
Tel 029-829-8372



森林整備センター

神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2(興和川崎西口ビル)
Tel 044-543-2500



森林総合研究所林木育種センター 森林総合研究所森林バイオ研究センター

茨城県日立市十五町伊師3809番1
Tel 0294-39-7000



森林保険センター

神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2(興和川崎西口ビル)
Tel 044-382-3500

国立研究開発法人

森林研究・整備機構

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1
TEL 029-873-3211
URL: <https://www.ffpri.go.jp/>



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2026.04